

経済建設常任委員会研修報告

2月4日に那珂川町の県北木材協同組合において「バイオマス燃焼発電所及び熱利用について」を研修しました。同組合では廃校となった中学校跡地に製材工場と木質バイオマス発電所を設置。間伐材等を木材乾燥や発電用の燃料として利用し、その廃熱でマンゴー栽培やうなぎの養殖を行うなど、林業を核に幅広く事業を展開しています。

また同日、家庭から出る生ごみに加え畜糞尿、枯葉等を一括して堆肥化する茂木町の施設「有機物リサイクルセンター美土里館」を視察しました。この施設により、ごみの減量化が図られるほか、落ち葉の収集業務を通じた地域コミュニティの活性化や健康増進、環境意識の高揚などの効果も生み出されています。

どちらも複合的な取り組みにより様々な効果をあげており、本市としても取り入れるべきところがあるのではないかと感じる大変有意義な研修でありました。

経済建設常任委員会委員会 委員長 川俣 純子



那珂川町のバイオマス燃焼発電所にて